

# 読書のすすめ

その8 H 29 5 / 19

## 新着図書

来週からいよいよ定期考査ですが、図書館には68冊の本が届きました。今回は英語検定・数学検定用の参考書、問題集を多く受け入れられました。手続きがすみましたので、どんどん活用してください！



## 額賀 滯さんの講演を聞いて

『タスキメシ』(昨年度の読書感想文課題図書) 著者



「小説の中の茨城」茨城を舞台に青春小説を書く」という演題で額賀さんのお話を聞く機会がありました。本県出身(旧麻生町・清真学園卒業26歳)で、小学校4年生から小説を書き始めたそうですが、2年前に作家デビューして5冊の本が出版されています。恩師から「茨城出身なのだから、茨城を舞台に書いてみる」それが「君だけの物語になる」という言葉に押されて現在に至るそうです。



麻生や鹿嶋、白浜少年自然の家、また、母校清真学園をはじめ麻生高・鹿島高・水城高・旧麻生一中・旧太田小・旧大和第二小などが作品の舞台になっており、とても親しみを感じる作品です。小説の中の「茨城」にはメリット・デメリットはあるものの、18歳まで生きてきた風景は自分の中から消えることはなく、景色・人・言葉すべてが小説の一部となる、と語っていました。

た。6月には「屋上のウインドノーツ」を改訂した文庫本が発売され、7月には新作『潮風のスケープ』が出ます。舞台はつくば！そして筑波大学(を想定した)の学生たちの青春が描かれている、ということですが、ますますの活躍を期待しています。今回、本校所有の本にサインをいただけてきました。